



とがみ

「やさしく かしこく たくましく」

山形市立滝山小学校

第23号
令和5年3月17日

発行：校長 吉田健志
山形市小立4-13-86

204日の令和4年度修了

今日は、修了式。1年生から5年生までの547名は、4月からは一つ上の学年へ上がります。115名の6年生は、全員卒業となり、中学校へ進学します。進級、進学おめでとうございます。この1年、とがみっ子は大きく成長しました。

1年生は、書くこと、読むこと、話すこと、そして計算など、学習の一番基礎となる勉強をよく頑張りました。その力をみんなで合わせ、伝えたい気持ちを声や動きで表現した、音楽劇『くじらぐも』は、とっても素晴らしかったです。また、毎朝目を見て元気に挨拶するところ、まわりの友達と上手に関わり合えるところも、1年生が成長したところです。



2年生は、覚える漢字が増え、長い文章を読んだり書いたりする力がつきました。算数では、かけざん九九にも粘り強く取り組みました。生活科では、生き物やおもちゃ、1年生など身の回りの様々な人・もの・ことに積極的に関わりました。町探検では、町のことをたくさん知り、学んだことをおうちの人前で発表しました。学んだこと成長したことがよく分かりました。

3年生は、総合的な学習で、グループ毎に課題を決めて探究活動を進めました。本物に触れるために直接交渉して学校に来て教えてもらったり、校長室でプレゼンをして現地に行く許可を得て探究活動を行ったりしました。まとめとなる学習発表会は、様々な工夫で、見応えがあり探究したことがよく伝わる発表となりました。

4年生は、様々な活動で、実行委員を中心に計画を立て、みんなで力を合わせて取り組んでいく経験を積み重ねました。特に、市民合同音楽祭に向けて合唱に取り組む姿に、成長を感じました。市民会館の本番では、1・2組の明るい表情とパワフルな歌声、3・4組の低音部と高音部のきれいなハーモニーが、とても素敵でした。

5年生は、高学年として6年生を支えながら、学校生活を送りました。7月の宿泊学習では、原始の火起こしでなかなか火がつかない時も、諦めず力を合わせて必死に棒をpushさえ紐を引っ張り合っていました。その姿にたくましさを感じました。3学期になってからは、りっぱな最高学年になれるように取り組む姿が見られ、頼もしかったです。

6年生は、4つの「そう」の1年でした。1つ目は「創」。運動会や児童会だけでなく、学習発表会の合奏や合唱でも、自分たちの力で創り上げるということを大事にして取り組んできました。2つ目は「想」。たてわり活動など、常に相手のことを心に留めて行動してくれました。3つ目は「走」。4月から今日までの長い1年間を、立派なリーダーとして走り続けました。そして、4つ目は「総」。6年生のがんばりが、令和4年度の滝山小の総合力につながりました。きっと、明日の卒業式でも、凛々しい姿を見せてくれるでしょう。

素敵な1年をつくりあげた、滝山小の662名の子ども達の成長に拍手です。これまで1年間、温かく見守っていただきました保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。

一年生でがんばったこと

一年 わたなべ こま千

わたしが一ばんがんばったことは水あそびです。ほいくえんでは、ゴーグルをつけても目をあけていただけませんでした。でも、すこしずつかおをつけるれんしゅうをしたら、水にもぐって目をあけられるようになりました。こんどは、およげるようになりたいです。



つぎにがんばったことは、あさがおをそだてることです。たねをうえてから、まい日、水をあげました。しばらくすると、くものすがはってしまいました。わたしはくもがにが手ですが、あさがおさんも、くもがついていたらいやだろうなとおもって、ティッシュをつかってくものすをとりました。たくさん花がさくように、おせわをがんばりました

二年生になったら、にが手なたべものをのこさないできゅうしょくをたべられるようになりたいです。

三学期がんばったこと

五年 穂積 舞

三学期は、次の学年のゼロ学期、準備期間でもありました。わたしは、来年六年生になるので、六年生にふさわしい人になれるように色々なことに目を向けて努力してきました。その中でも特にがんばった事をご紹介します。



一つ目は、「あるこ」を守ることです。特に「あるこ」のあいさつとルールをがんばりました。あいさつでは、前まで自分から相手に声のとどくようにできていませんでした。声のとどかなければ自分からしても意味がありません。どっちかができるようになると、どっちかができなくなってしまうということがないように、常に意識していました。その結果、自分からはまだできていないところがあるけれど、相手に声のとどくようにすることができました。ルールでは、前までろう下の歩き方がちゃんとなっていないませんでした。ろう下の歩き方がなっていないと、反対から来た人にぶつかってしまうかもしれません。けがをさせたりしたりしてしまってからではおそいのです。だから、ろう下の右側を静かに歩くことを意識しました。その結果、廊下の右側を静かに歩くということを達成することができました。

二つ目は、どんなことにも真剣に取り組むことです。どんなことにも真剣に取り組めば、めんどくさいと思っていたことも、もしかしたらちがうことにつながり、生かせるかもしれません。例えば、自分が係を決めるときに、なりたいものになれずいやだなど思う係になった時があります。その時、なった係に真剣に一生けん命取り組みました。そうすると、この係はやりがいがあるなど思えてきました。だから、どんなことにも真剣に取り組むことが大切だと思い、いやだなど思うことも率先して行いました。そのおかげでいろんな事を発見できたのでよかったです。

今年できた事は来年につなげ、今年できなかった事は来年できるようにしたいです。そのために、これからも目標をもって取り組んでいきたいです。